



2021JR総連春闘勝利！ シリーズ⑩

賃上げは満額回答せよ！ 趣旨説明で強く主張！ 2021春闘 第1回団体交渉

本部は本日、2021春闘における賃金引き上げ・夏季手当・労働条件改善についての第1回団体交渉を開催し、趣旨説明で満額回答を強く主張しました。趣旨説明の要旨は以下の通りです。

- ◆現場で働く社員は日々、新型コロナウイルス感染症に怯えながら業務に就き奮闘している。
- ◆年末手当で会社は、安定的支給ベース2.9ヶ月の解釈を一方向的に歪め、2.2ヶ月という低額に抑え込んだ。
- ◆社員は、会社が夏季手当2.7ヶ月・年末手当2.9ヶ月を安定的支給に支給するものと信じて、これまで過去最高益を出していても利益の還元を受けず我慢してきた。社員は、住宅ローンや家族の学費等の計画が全て狂い、全社員の生活設計までも破壊された。
- ◆役員報酬は自主返納としながらも、高額な報酬を維持している。
- ◆リニア中央新幹線建設を進めていることは、経営的には充分余裕がある。
- ◆日本は、かつて先進国でもトップクラスの賃金水準であったが、今は最下位であると言われている。
- ◆JR東海の経営理念に「日本の大動脈を支える」とあるが、日本の経済をJR東海が最前線で牽引するために、大幅な賃金アップを行うべきだ。